

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成23年8月18日 (2011.8.18)

【公開番号】特開2011-7683(P2011-7683A)

【公開日】平成23年1月13日 (2011.1.13)

【年通号数】公開・登録公報2011-002

【出願番号】特願2009-152535(P2009-152535)

【国際特許分類】

G 0 1 S 19/22 (2010.01)

【F I】

G 0 1 S 5/14 5 3 9

【手続補正書】

【提出日】平成23年7月1日 (2011.7.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

位置算出用衛星から発信された衛星信号を受信した受信信号に対して相関演算処理を行うことと、

前記相関演算処理により求められたピーク相関値と、当該ピーク相関値を示したピーク位相から所定位相遅れた位相の相関値とを用いて、前記受信信号がマルチパス信号である場合の当該マルチパス信号の信頼度を判定することと、

を含むマルチパス信号信頼度判定方法。

【請求項 2】

前記信頼度を判定することは、前記ピーク相関値と前記ピーク位相から所定位相遅れた位相の相関値との比を用いて前記信頼度を判定することを含む、

請求項 1 に記載のマルチパス信号信頼度判定方法。

【請求項 3】

前記信頼度を判定することは、前記ピーク相関値と前記ピーク位相から所定位相遅れた位相の相関値との比の値から、前記受信信号が直接波信号であった場合の当該比の値を減算した値を用いて前記信頼度を判定することを含む、

請求項 1 に記載のマルチパス信号信頼度判定方法。

【請求項 4】

前記所定位相は、1チップ以上2チップ未満である、

請求項 1 ~ 3 の何れか一項に記載のマルチパス信号信頼度判定方法。

【請求項 5】

位置算出用衛星から発信された衛星信号を受信した受信信号に対して相関演算処理を行う相関演算部と、

前記相関演算処理により求められたピーク相関値と、当該ピーク相関値を示したピーク位相から所定位相遅れた位相の相関値とを用いて、前記受信信号がマルチパス信号である場合の当該マルチパス信号の信頼度を判定する判定部と、

を備えたマルチパス信号信頼度判定装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】マルチパス信号信頼度判定方法、及びマルチパス信号信頼度判定装置

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、マルチパス信号信頼度判定方法等に関する。